

「科目等履修生」として、少ない単位で他の教員免許状の取得が可能に。

隣接する教員免許状の取得をめざす!

免許法別表8(第6条関係)

■取得できる教員免許状及び教育職員免許法に定められた要件

所有する教員免許状	取得できる教員免許状	必要 在職年数	修得単位
幼稚園	小学校2種	3年	13
小学校	幼稚園2種	3年	6
	中学校2種 (社会・数学)	3年	14
中学校	小学校2種	3年	12
	2種を除く※1 高等学校1種 (公民・地理歴史・数学)	3年	12
高等学校※2	中学校2種 (社会・数学)	3年	9

※1 高等学校1種(公民または地理歴史)免許状を取得する場合は中学校1種(社会)免許状が必要です。

高等学校1種(数学)免許状を取得する場合は中学校1種(数学)免許状が必要です。

※2 中学校2種(社会)免許状を取得する場合は高等学校1種(地理歴史または公民)免許状が必要です。

中学校2種(数学)免許状を取得する場合は高等学校1種(数学)免許状が必要です。

*必要在職年数は、所有する教員免許状や取得を希望する教員免許状における最低在職年数です。

*中学校(数学)・高等学校(数学)免許状は、認定通信教育として開講する科目を履修します。

同じ学校種のお他教科の教員免許状の取得をめざす!

免許法別表4(第6条関係)

■取得できる教員免許状及び教育職員免許法に定められた要件

所有する教員免許状	取得できる教員免許状	修得単位	
		教科に関する科目	教職に関する科目
中学校専修, 1種 または2種	中学校2種 (社会・数学)	10	3
中学校専修 または1種	中学校1種 (社会・数学)	20	8
高等学校専修 または1種	高等学校1種 (公民・地理歴史・数学)	20	4

*中学校(数学)・高等学校(数学)免許状は、認定通信教育として開講する科目を履修します。

上級の教員免許状の取得をめざす!

免許法別表3(第6条関係)

■取得できる教員免許状及び教育職員免許法に定められた要件

所有する教員免許状		取得できる 教員免許状	必要 在職年数	修得 単位
幼稚園	臨免	2種	6年	45
	2種	1種	5年	
小学校	臨免	2種	6年	
	2種	1種	5年	
中学校 (社会・数学)	臨免	2種	6年	
	2種	1種	5年	
高等学校 (公民・地理歴史・数学)	臨免	1種	5年	

*必要在職年数は、教員免許状を取得してからの最低在職年数です。必要在職年数(最低在職年数)を超える在職年数がある場合は、年数に応じて修得単位が軽減されます。

*中学校(数学)・高等学校(数学)免許状は、認定通信教育として開講する科目を履修します。

Check!

免許法第6条は、「検定」により教員免許状を取得します。「検定」は授与権者である都道府県教育委員会が行います。具体的な修得科目(単位)は各都道府県教育委員会が規定しておりますので、入学前に各自で指導を受けてください。

修得単位は左・上表よりも多くなる場合があります。

修得単位とは、基礎となる教員免許状を取得後、新たに修得する単位数です。



モデル
ケース

小学校2種免許状を取得したい

中学校教員免許状を所有
中学校での3年以上の教職経験あり

[免許法別表8] で14単位※1を修得

小学校2種免許状取得※2(所要年数1年)

取得にかかる費用(2024年現在)

選考料	10,000円
登録料	15,000円
科目等履修料 9,000円×14単位	126,000円
学修料	8,000円
合計	159,000円

合計金額には、1年間の科目試験料・テキスト代・レポート添削料などの費用が含まれます。

※1 お持ちの教員免許状と取得したい教員免許状によって、必要な単位数と費用は変わります。

※2 本学で単位を修得後、各都道府県教育委員会の検定により教員免許状を取得します。

レポート提出も単位修得試験もすべてオンラインで完結!

入学から単位修得までの流れ

科目等履修生

入学

教材配付

学修開始

テキスト履修(自宅学修)

テキストでの学修

レポート作成・提出
Web上で作成・提出!

科目試験
Web上で受験!

単位修得

教員免許状取得

入学時期は、
前期入学(4月)と
後期入学(10月)の
年2回

*科目等履修生の学修形態は、原則としてテキスト履修となりスクーリング(対面授業)は不要ですが、希望すればスクーリングの受講も可能です。
*中学校(数学)・高等学校(数学)の免許状を取得する方で、「コンピュータ」の修得が必要な場合は、土日2日間のスクーリング(対面授業)が必須となります。

学修方法の特長

レポート作成・提出～添削まで
オンラインで完結します



Webレポートシステム

ネット環境があれば、自分のライフスタイルに合わせてレポートの作成・提出がどこからでも可能です。レポートはオンライン上で添削され、評価についての疑問・質問も直接教員とやりとりができます。

科目試験も
Webで受験できます!



Web科目試験

ネット環境があれば自宅からの受験が可能です。

最大
年9回の
受験機会

レポート作成で悩んだら、
補助動画のポイント説明を参照



テキスト履修の補助動画

各科目の担当教員が課題の意図や評価ポイントをていねいに説明します。